令 和 ８ 年 ９ 月 11 日
内閣府政策統括官（防災担当）

令和８年防災功労者防災担当大臣表彰式について

標記式典を下記のとおり執り行うのでお知らせします。
なお、受賞者については別紙１のとおりです。

記

１．日　時：令和８年９月 18 日（金）14 時 00 分～
２．場　所：ホテルルポール麹町（東京都千代田区平河町２－４－３）
　　３Ｆ「マーブル」
３．出席者：防災担当大臣（予定）
４．式次第：（開式）14 時 00 分～（閉式）14 時 30 分
　（１）防災担当大臣あいさつ
　（２）防災担当大臣表彰状授与
　（３）受賞者代表謝辞
５．取　材：表彰式は公開（カメラ撮り可）。ただし次の事項に留意。
　（１）取材を希望される場合は、９月 16 日（水）17 時 00 分までに以下のアドレスにて取材者の事前登録をお願いします。
　　https://forms.office.com/r/FFcqpzXRyp
　（２）取材を希望される方は、表彰式当日、13 時 00 分～13 時 30 分までの間にホテルルポール麹町３Ｆ「マーブル」前にて取材の受付を済ませてください。
　（３）取材をされる際には、表彰式の支障とならないよう現地担当者の指示に従ってください。
６．その他：表彰式の日程が変更又は中止となる場合がございますので、御留意願います。

【本件問合せ先】
内閣府政策統括官（防災担当）付
参事官（総括担当）付　池田、篠田、米山
電話：03-3593-2844（直通）

令和8年 防災功労者防災担当大臣表彰受賞者名簿

○ 個　人

〔防災体制の整備〕

1	山　本　　正　則	石川県
2	大　　石　　　哲	兵庫県
3	黒　岩　　正　光	鳥取県

〔防災思想の普及〕

4	朝　原　　充　子	栃木県
5	鈴　木　　一　美	東京都
6	川　　口　　　功	静岡県

○ 団　体

〔防災体制の整備〕

7	大松川区自主防災会	秋田県
8	新所自主防災会	秋田県
9	群馬DMAT	群馬県
10	桜町連区防災推進協議会	愛知県
11	植田東学区連絡協議会	愛知県
12	野跡キッズ団	愛知県
13	港楽学区防災組織委員会	愛知県
14	深草学区自主防災会	京都府
15	生駒市自治連合会	奈良県
16	特定非営利活動法人　市民活動サークルえん	奈良県
17	竹内町自治会防災部	鳥取県

〔防災思想の普及〕

18	災害ボランティアぐんま	群馬県
19	美しヶ丘自主防災会	奈良県
20	山上自主防災会	奈良県
21	日本防災士会徳島県支部	徳島県
22	徳島市川内町自主防災組織連絡協議会	徳島県
23	松山防災リーダー育成センター	愛媛県
24	有限会社ミューズプランニング	熊本県

〔災害時の防災活動〕

25	一般社団法人　全国災害復旧職人派遣協会	山梨県

以上２５件（６個人、１９団体）

功　　績　　概　　要

個人［防災体制の整備］

推　薦　者	石　　川　　県
ふりがな 氏　　名	やまもと　まさのり 山本　正則
住　　所	石川県河北郡津幡町
職　　業	
功績の概要	氏は、平成２２年に萩坂地区自主防災クラブ長に就任し、現在まで長きにわたり地域の防災力強化及び防災意識の高揚のため、毎年、定期的に防災訓練や防災研修会等を実施している。 また、地域の社会福祉協議会と連携し、福祉の観点から災害への日頃からの備えや緊急連絡体制の構築を推進する等、多様な福祉課題に対して積極的に課題解決に向けた取り組みを進めている。 さらに、防災士として当該地区における防災士の養成に積極的に関与され、多くの方の防災士資格の取得に尽力しているほか、地域の防災士ネットワークの構築にも尽力する等、地域防災力の向上に大きく貢献している。

功　　績　　概　　要

個人［防災体制の整備］

推　薦　者	兵　　庫　　県
ふりがな 氏　　名	おおいし　さとる 大石　哲
住　　所	兵庫県神戸市
職　　業	神戸大学都市安全研究センター教授
功績の概要	河川に関する学識経験を有する者として、専門的見地から阪神圏域における総合治水計画や兵庫県内の二級河川に関する河川整備方針等について提言を行うなど、兵庫県が掲げる安全で安心な社会づくりの推進に寄与するとともに、国家プロジェクト「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」のサブ課題の研究開発責任者を務めるなど、研究者として本邦の防災・減災対策の充実に多大な貢献を果たしている。

功　　績　　概　　要

個人［防災体制の整備］

推　薦　者	鳥　　取　　県
ふりがな 氏　　名	くろいわ　まさみつ 黒岩　正光
住　　所	鳥取県鳥取市
職　　業	鳥取大学工学部教授
功績の概要	２０１９年３月に学生主体の防災サークル「鳥大防災Ｌａｂ．（ラボ）」を立ち上げ、顧問として活動を開始した。顧問として、学生への防災教育のみならず、鳥取県版避難所運営ゲーム（以下「鳥取県版ＨＵＧ」という。）の開発支援を行い、県内地域・学校において鳥取県版ＨＵＧを活用した研修会を実施することで県内における避難所運営学習体制を構築し、県民の避難所運営能力の向上に大きく貢献した。 また、学生とともに県内防災イベントへの出展や地域における防災学習会を行い、学生の防災知識の向上と併せて、県内における地域防災力の向上にも大きく寄与している。 さらに、沿岸防災に関して、津波浸水想定や海岸侵食対策に関する各種委員会・検討会において継続的に助言・技術指導を行うとともに、気候変動を踏まえた将来の海岸保全に対する海岸保全基本計画の見直しにも携わり、今後の沿岸防災体制の整備に尽力した。

功　　績　　概　　要

個人［防災思想の普及］

推　薦　者	栃　　木　　県
ふりがな 氏　　名	あさはら　みちこ 朝原　充子
住　　所	栃木県小山市
職　　業	主婦
功績の概要	平成１４年、駅東婦人防火クラブの発足と同時に小山市女性防火クラブ連合会に入会した。平成１９年には小山市女性防火クラブ連合会監事、平成２１年には同クラブ連合会会計、平成２７年には同クラブ連合会副会長に就任し、地区自治会のみならず、広く市民に対して防火意識高揚及び防火啓発に寄与されている。指導力及び統率力は他に類を見ないほど優れ、防火・防災に注がれる積極的な活動は、強く住民の信頼を得ており、地域の安全安心に多大な貢献をしているため。

功　　績　　概　　要

個人［防災思想の普及］

推　薦　者	東　　京　　都
ふりがな 氏　　名	すずき　かずみ 鈴木　一美
住　　所	東京都小金井市
職　　業	自営業
功績の概要	消防行政に深い関心と理解を示し、小金井危険物安全協会において、平成９年５月から役員、平成２１年４月から現在まで同会会長として、危険物施設の保安管理及び地域の防火防災思想普及に尽力した。

功　　績　　概　　要

個人［防災思想の普及］

推　薦　者	静　　岡　　県
ふりがな 氏　　名	かわぐち　いさお 川口　功
住　　所	静岡県裾野市
職　　業	
功績の概要	裾野市防災指導員会において18年という長きにわたり活動を継続しており、地域防災の要として極めて高い貢献を果たしています。同氏は単に自身の防災意識を啓発するだけでなく、地域の防災力維持・向上に不可欠な人材の育成に尽力している。また、その活動範囲は居住する地域内に留まらず、市内小学校への出前授業や、静岡県ふじのくに災害ボランティアコーディネーター養成講座でのHUG（避難所運営ゲーム）講師など、多岐にわたるフィールドで専門知識の普及に努めている。令和7年度には、市と連携した親子向け出前講座の講師を務め、その卓越した指導力と親しみやすい人柄から、受講者から高い評価を得ている。この実績は地域社会での信頼の証であり、市民の防災意識向上において多大な影響力を発揮している。長年の経験に裏打ちされた深い知見と、熱心かつ丁寧な活動姿勢は、まさに防災指導員の模範であり、本表彰に極めてふさわしい人物である。

功　　績　　概　　要

団体［防災体制の整備］

推　薦　者	秋　　田　　県
ふりがな 名　　称	おおまつがわじしゅぼうさいかい 大松川自主防災会
所　在　地	秋田県横手市
代　表　者 （団体での職名）	会長　　藤井（ふじい）　精一（せいいち）
功績の概要	大松川区自主防災会は平成２６年２月、住民の隣保協同の精神に基づく自主的な防災活動を行うことにより、地震、大雪、強風、大雨、その他の災害による被害の防止と軽減を図ることを目的に、自治会と同じ構成員で組織・設立された。 「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域防災の基本理念のもと、地域住民の参加による避難所設営、安全な雪下ろし講習、防災マップの活用方法、AED講習、防災訓練など毎年内容を変えながら活動を続けている。 当地区は、地滑り、雪崩、土石流及び、がけ崩れの特別警戒区域等に指定されており、常に災害の危険性の高いところであることから、地域住民の自主防災意識は高い。 　また、当地区は山内地域でも地形的に特に雪が多く、６５歳以上の割合も４８％と高いため、消防署の協力を得て【安全な雪下ろし講習】を実施し、除雪に伴う事故防止にも努めている。 このような取り組みが功を奏して、令和５年７月１４日からの大雨の際には、高齢者等避難の発令と同時に地区役員が地区会館に集合し対応策を協議し、民生委員と協力して土砂災害危険区域内の一人暮らし世帯を巡回し、安否確認や早めの避難を呼びかけ被災の未然防止に貢献するなど、他地域の模範となっている。

功　　績　　概　　要

団体［防災体制の整備］

推　薦　者	秋　　田　　県
ふりがな 名　　称	あらどころじしゅぼうさいかい 新所自主防災会
所　在　地	秋田県由利本荘市
代　表　者 （団体での職名）	会長　　土田（つちだ）　功（いさお）
功績の概要	東日本大震災の発生を契機として平成23年12月に新所自主防災会を設立。以来15年にわたり、自主的に事業計画を策定の上、コロナ禍による中止1回を除いて毎年の防災訓練・研修等を実施し、地域住民の防災意識向上の啓発に取り組んでいる。訓練では消火器の使い方や簡易トイレ、ダンボールベッドの組み立て方の指導など、発災に備え地域住民の自助力、共助力の向上を目的として行っている。住民の参加率も高く、地域自主防災組織として積極的に活動を継続しており、他の模範となる自主防災組織である。

功　　績　　概　　要

団体［防災体制の整備］

推　薦　者	群　　馬　　県
ふりがな 名　　称	ぐんまでぃーまっと 群馬ＤＭＡＴ
所　在　地	群馬県前橋市
代　表　者 （団体での職名）	群馬県知事　山本（やまもと）　一太（いちた）
功績の概要	当該団体は、群馬県知事が指定するDMAT指定医療機関により編成される災害派遣医療チームであり、県内外の災害時の医療救護活動に長年に渡り取り組んでいる。特に、平時からマニュアルに基づいた研修・訓練を管内消防本部や県警機関等と連携して毎年実施している点は特筆すべきである。 令和７年度においては、多数傷病者発生事案を想定し、消防・医療の連携体制の検討及び対応能力の向上を目的として、指揮本部と救護所の連携並びに患者搬送をテーマにした研修及び訓練を実施した。これらの取組においては、研修及び机上シミュレーションを通じてマニュアル・指針に基づく各機関の活動内容について相互理解を深めるとともに、実動訓練を通じて現場における実践的な連携体制の検討・実施を行っている。 このような定期的な研修・訓練の実施の積み重ねにより、実災害においても多職種と連携し、円滑な活動を遂行することが可能となっている。令和７年１２月２６日に発生した、関越自動車道下り線水上インターチェンジ付近における多重交通事故では、６０人を超える方が事故に巻き込まれ、３０名の傷病者が医療機関に搬送される被害が生じたが、当該団体の活動により被害を軽減することができた。 以上のとおり、当該団体の活動は、群馬県の災害医療体制の整備に多大な貢献をしている。

功　　績　　概　　要

団体［防災体制の整備］

推　薦　者	愛　　知　　県
ふりがな 名　　称	さくらまちれんくぼうさいすいしんきょうぎかい 桜町連区防災推進協議会
所　在　地	愛知県豊川市
代　表　者 （団体での職名）	会長　古市（ふるいち）　修康（のぶやす）
功績の概要	桜町連区防災推進協議会は、学校や保育園、商店、事業所等を巻き込んだ地域一体の防災体制を構築し、防災研修会や防災訓練を継続して実施している。豊川市に甚大な被害をもたらした令和５年６月豪雨災害では、当該地区でも多くの住民が浸水被害に見舞われた。同協議会はこの被災経験を風化させないため、自ら「令和５年６月豪雨災害記録誌」を編纂・発刊するとともに、「６月２日は東三河豪雨記憶の日」として、地域への啓発活動を強力に推進している。さらに、地区内の事業者や団体との間で、災害時における寝具や段ボールベッドの供給、民間施設の一時避難所等としての活用に関する防災協定等を締結するなど、公助を補完する共助のネットワークを構築している。このように、地域資源を有機的に結びつけた積極的かつ先進的な防災活動を展開しており、その功績は多大である。

功　　績　　概　　要

団体［防災体制の整備］

推　薦　者	愛　　知　　県
ふりがな 名　　称	うえだひがしがっくれんらくきょうぎかい 植田東学区連絡協議会
所　在　地	愛知県名古屋市
代　表　者 （団体での職名）	会長　村上（むらかみ）　正一（しょういち）
功績の概要	2020年度に学区連絡協議会に「減災委員会」を立ち上げ、各町内会をはじめ学区内の防災関係団体と連携しながら、防災・減災に関する話し合い、訓練を実施し、地域防災力の向上に大きく寄与してきた。 また、2022年には、地域での特性や課題の洗い出し、将来を見据えた上で当面の取り組みについてまとめた「植田東学区地区防災計画2025」が名古屋市地域防災計画に定める地区防災計画として認証されるなど、地域における共助による防災活動の推進に貢献した。 更に2025年度には、これまでの取り組みを振り返るとともに、その後5年間で取り組む内容の検討を行い、新たに「植田東学区地区防災計画2030」が地区防災計画として認証されるなど、防災体制の推進に貢献した。

功　　績　　概　　要

団体［防災体制の整備］

推　薦　者	愛　　知　　県
ふりがな 名　　称	のせききっずだん 野跡キッズ団
所　在　地	愛知県名古屋市
代　表　者 （団体での職名）	代表　中野（なかの）　耀太（ようた）
功績の概要	野跡キッズ団は、学区内の小学生を団員として構成された組織であり、令和元年度に地元消防団の協力により発足。令和２年度より指定避難所での宿泊型訓練を毎年実施するほか、水難救助訓練や日頃より防火・防災の学習や訓練等の活動を行い、地域として次世代の防災の担い手づくりに積極的に取り組み、将来を見据えた地域防災力の向上に尽力している。

功　　績　　概　　要

団体［防災体制の整備］

推　薦　者	愛　　知　　県
ふりがな 名　　称	こうらくがっくぼうさいそしきいいんかい 港楽学区防災組織委員会
所　在　地	愛知県名古屋市
代　表　者 （団体での職名）	代表　　西尾（にしお）　典子（のりこ）
功績の概要	自助・共助を高め、避難所の設置運営を住民が主体的に行っていくには、役員や地域内に限らず幅広くやる気のある人を集い取り組みことが必要との決意のもと、令和６年４月「港楽学区防災組織委員会（港防会）」を立ち上げた。発足にあたって広く広報を行い、役員以外で若手や地域外から１２名ものメンバーが集まり、学区の役員２８名と共にこの会議の参加メンバーとなった。 港防会は月１回開催され、自助・共助を高めるための学びと、避難所運営の具体的取組の検討を続けている。外部講師を招いての防災・減災講習、キャンプ用品等を活用したローリングストック法の講習等で知識や技術を高めてきた。また、非常発電機を地域の運動会で使用し併せて訓練の場としたほか、避難所を運営する管理組織を選定し、学区独自の避難所運営ルールや方法を検討し、学区防災訓練で実践検証を行い、ブラッシュアップを続けている。 担い手不足が問題となる中で、これからの地域活動の在り方に光を当てる他の取り組みの参考となる先進的な活動であり、その功績は特に顕著である。

功　　績　　概　　要

団体［防災体制の整備］

推　薦　者	京　　都　　府
ふりがな 名　　称	ふかくさがっくじしゅぼうさいかい 深草学区自主防災会
所　在　地	京都府京都市
代　表　者 （団体での職名）	会長　　森澤（もりさわ）　幸次（こうじ）
功績の概要	（１）組織運営の適正化と連携体制の強化 毎年度当初に本部役員及び自主防災部長による総会を実施し、前年度の活動検証に基づいた実効性の高い年度計画を樹立している。また、学区内７０の自主防災部を５班に分ける独自の班編成を導入し、班長を通じて役員と学区民の緊密な連携を図るなど、大規模学区の特性に応じた機動的な組織運営を実践している。 （２）独自マニュアルの策定と避難環境の整備 公的な指針が示される以前より、独自の「深草学区防災行動マニュアル」及び「避難所運営マニュアル」を先駆的に作成し活用している。併せて、地域独自の集合場所標識を設置し、その現況写真をマニュアルに反映させることで、有事の際、住民が迅速かつ迷うことなく行動できる体制を整備している。 （３）実践的な防火防災への取組 令和元年度から住宅用火災警報器の共同購入を継続し、家庭の防火力向上に注力している。また、災害発生時、学校施設を避難所として開設できるかどうかを、地域住民自らが迅速かつ安全に判断するための手順を確認する訓練を実施している。 （４）大学、地域との連携 立命館大学都市地域デザイン研究室と連携した「深草地区防災まちあるき」を継続し、危険箇所や防災資源を再点検している。その成果を反映した「深草学区オリジナル防災マップ」を通じて住民のリスク認知と避難意識を高めている。また、料理教室「五感で学ぶ料理教室ククラボ」と協力し、災害時調理法の講習を開催。実践的な「食」の備えを普及させ、生活防災の浸透に尽力している。

功　　績　　概　　要

団体［防災体制の整備］

推　薦　者	奈　　良　　県
ふりがな 名　　称	いこましじちれんごうかい 生駒市自治連合会
所　在　地	奈良県生駒市
代　表　者 （団体での職名）	会長　　長崎（ながさき）　格（いたる）
功績の概要	当団体の以下の取り組みは、地域防災力の向上に大きく寄与するものであり、防災功労者防災大臣表彰選考基準の「３防災体制の整備の面で貢献した者」のうち「イ防災活動等を通じて地域の防災力の向上に貢献した者」に合致するものと考え、ここに推薦するものです。 １．自治会間の共助のしくみづくり 当団体は、市内の全自治会が加盟し、５つの地区に分かれて活動し、連携しながら地域課題を解決につなげる組織です。災害発生時に地域により被害の程度に差が生じることを想定して、被災のない自治会が被災自治会を支援するという「自治会間の共助」に取り組むことを目標に掲げています。情報収集と情報共有化の仕組みの構築に向け、2023年より防災部会が検討を重ね、2箇年をかけて「生駒市自治連合会防災計画」を策定するほか、「生駒市自治連合会防災ホームページ」を作成し、災害時の情報共有だけでなく、平時に加盟自治会員の防災知識の向上に取り組むなど、地域の実情に即した継続的な防災活動を展開しています。 ２．子どもたちへの防災教育を展開 将来地域活動を担っていく子どもたちに「防災教育」をはじめとする地域活動を学ぶ機会を作ることが必要と考え、防災研修を行うほか、人材育成に取り組んでいます。 ３．市内全域で大規模な防災訓練を実施 令和7年度は、「総合防災訓練を成功させてわがまち自治会の防災力を向上させよう」をテーマに掲げ、複数の自治会が連携し、行政やその他関係団体と協力した大規模な訓練に取り組みました。

功　　績　　概　　要

団体［防災体制の整備］

推　薦　者	奈　　良　　県
ふりがな 名　　称	とくていひえいりかつどうほうじんしみんかつどうさーくるえん 特定非営利活動法人　市民活動サークルえん
所　在　地	奈良県生駒市
代　表　者 （団体での職名）	代表理事　　礒野（いその）　太郎（たろう）
功績の概要	当法人は、以下の継続的な活動をしており、この功績は防災功労者防災大臣表彰選考基準の「３防災体制の整備の面で貢献した者」のうち「イ防災活動等を通じて地域の防災力の向上に貢献した者」に合致するものであるため推薦します １．はじまりは、放課後等デイサービスの地域活動から 当法人は、ボランティア活動の啓発、市民活動団体の運営相談や実務支援を行う一方、支援を必要とする中高生を対象とした放課後等デイサービス事業所を運営し、不登校児童の居場所づくりや高校卒業後の社会に出た時を見据えた療育を提供しています。 ２．防災教育プログラムや防災マルシェでの企業との連携強化 事業所利用者を対象に導入した防災教育のプログラムについて、この内容が一般の子どもたちにも有効であると考え、オープン開催や出前講座を積極的に行うほか、広く市民へ啓発する防災マルシェを開催し、平時より地域住民を主体とした防災・減災活動に継続的に取り組み、地域防災力の向上に多大な貢献をしてきました。 ３．学校や行政との連携した共助の推進 当法人は学校や行政機関、他の関係団体と連携し、共に助け合える優しい地域づくりを目指し、障がいのあるなしに関わらず共に防災を学べる機会を提供しており、共助の観点からも高く評価されます。

功　　績　　概　　要

団体［防災体制の整備］

推　薦　者	鳥　　取　　県
ふりがな 名　　称	たけのうちちょうじちかいぼうさいぶ 竹内町自治会防災部
所　在　地	鳥取県境港市
代　表　者 （団体での職名）	会長　　伊佐治（いさじ）　敏（さとし）
功績の概要	本団体は、自治体加入世帯が600世帯以上と大規模の自治体であるが、活発に防災活動に取り組んでいる。 例年、消防・防災訓練等のほか、防災に関する講演会なども継続して実施している。近年は町内の清掃に合わせて空き家や危険個所の調査を行い、『支え愛マップ』（災害時に誰かの手助け・声かけを必要とする人、声かけができる人、避難先などの情報が書き込まれた地図。本県独自の取組。）の作成にも注力している。 これらの実績は町民の防災意識の高揚、地域防災力の向上に大きく寄与しており、他の模範である。

功　　績　　概　　要

団体［防災思想の普及］

推　薦　者	群　　馬　　県
ふりがな 名　　称	さいがいぼらんてぃあぐんま 災害ボランティアぐんま
所　在　地	群馬県前橋市
代　表　者 （団体での職名）	理事長　細金（ほそがね）　義光（よしみつ）
功績の概要	実災害の経験を踏まえた実践的な研修や講演を継続的に実施し、防災に関する専門性と即応力を備えた人材の育成を推進している点が特に優れている。また、能登半島地震に関する報告会や協働型災害ボランティアセンター運営研修参加などにより、最新の現場知見を地域に還元している。加えて、東日本大震災や風水害等において広域かつ長期にわたり支援活動を行い、家屋の復旧支援や運営支援等、多面的な活動を展開している。

功　　績　　概　　要

団体［防災思想の普及］

推　薦　者	奈　　良　　県
ふりがな 名　　称	うつくしがおかじしゅぼうさいかい 美しヶ丘自主防災会
所　在　地	奈良県北葛城郡王寺町
代　表　者 （団体での職名）	会長　　宮武（みやたけ）　等（ひとし）
功績の概要	美しヶ丘自主防災会は、地域住民主体による自主防災組織として長年にわたり継続的な防災思想の普及活動に取り組んでいます。 同会では、防災訓練、防災教室、救命講習、防災備蓄倉庫整備、防災資機材訓練、防災研修等を年間を通じて積極的に実施しており、地域住民の防災意識向上及び地域防災力の強化に大きく寄与しています。 特に、地域公園でのかまどベンチの作成やそれを活用した炊き出し訓練や、防災倉庫を活用した資機材操作訓練を通じて、災害時を具体的に想定した実践的な活動を展開しています。また、王寺南義務教育学校や王寺南幼稚園と連携した防災教育を継続して実施し、幼少期からの防災意識醸成にも尽力しています。 さらに、救命講習会や防災グッズ展示販売会を通じ、家庭内備蓄や自助意識の啓発を推進するとともに、防災イベントを地域交流の機会として活用することで、「顔の見える関係づくり」を推進し、共助体制の強化にも大きく貢献しています。 これらの活動は、地域住民の防災意識向上のみならず、地域コミュニティの結束強化及び持続可能な地域防災体制の構築に寄与するものであり、他地域の模範となる顕著な功績です。

功　　績　　概　　要

団体［防災思想の普及］

推　薦　者	奈　　良　　県
ふりがな 名　　称	やまがみじしゅぼうさいかい 山上自主防災会
所　在　地	奈良県北葛城郡王寺町
代　表　者 （団体での職名）	会長　北村（きたむら）　達夫（たつお）
功績の概要	山上自主防災会は、「誰一人取り残さない地域づくり」を目指し、住民が楽しく参加できる防災訓練を企画・実施しています。会員は毎月の会議や勉強会を通じて防災知識を深め、防災士資格を有する会員は王寺町防災士ネットワークに所属し、最新の防災情報の収集やさらなる知識向上に努めています。 こうした活動の成果として、実施する防災訓練では集合住宅など新しい住民を含め地域全体の参加率（世帯）が約50%と高水準を維持しており、他地域とも比較して優れた結果を残しています。 訓練内容には「防災運動会」（例：担架リレーや土嚢運び）などを盛り込み、住民が楽しみながら、防災に対する理解と関心を深められる工夫がなされています。 さらに、地区防災計画を策定し、その計画に基づく避難行動訓練を実施することで、計画の実効性や有効性の検証を行っています。 このような積極的な活動を通じて住民同士の結びつきが深まり、地域における自助・共助の意識が向上しています。その結果、当防災会の取り組みは他地域のモデルともなるべき実績を挙げています。

功　　績　　概　　要

団体［防災思想の普及］

推　薦　者	徳　　島　　県
ふりがな 名　　称	にほんぼうさいしかいとくしまけんしぶ 日本防災士会徳島県支部
所　在　地	徳島県徳島市
代　表　者 （団体での職名）	支部長　石原（いしはら）　誠治（せいじ）
功績の概要	当団体は、十分な防災の意識と一定の知識・技能を有するとして認証された「防災士」の集団であり、徳島県内の地域防災力向上のために活動している団体である。 具体的な活動として、自主防災組織、学校、企業等を対象として、「防災出前講座」を長年にわたり継続して実施しており、災害時における具体的な対応方法や日頃の備えについて、普及啓発を行い、地域社会の防災力向上に寄与している。また、県が実施している「とくしま防災フェスタ」では、防災に関するブースを設けるなど、行政とも緊密に連携を行い、積極的に防災・減災に係る知識の普及を行っている。 さらに、これまで徳島市が実施している徳島市民総合防災訓練に参加するなど、災害発生時において、支援活動に携わる団体の一つとして、徳島県の防災体制の整備に寄与している。

功　　績　　概　　要

団体［防災思想の普及］

推　薦　者	徳　　島　　県
ふりがな 名　　称	とくしましかわうちちょうじしゅぼうさいそしきれんらくきょうぎかい 徳島市川内町自主防災組織連絡協議会
所　在　地	徳島県徳島市
代　表　者 （団体での職名）	会長　松野（まつの）　隆（たかし）
功績の概要	当地区の自主防災会連合会結成当初から、連合会長が地域の防災リーダーとして遺憾なくリーダーシップを発揮し、副会長及び各自主防災会長等と協力して、地域全体の防災思想の普及啓発のため、毎年計画的に訓練及び研修会を開催し、地域防災力の向上に努めている。 また、常日頃から率先して防災知識及び技術の普及啓発に努め、地域防災力の向上に熱心に取り組み、地域の関係機関と連携強化を図るため、消防、学校、社会福祉施設等と合同で訓練を実施し、常に地域防災力の向上に多大な貢献をしている。 このように長年にわたる活動は、誠に顕著であり他の模範とするところである。

功　　績　　概　　要

団体［防災思想の普及］

推　薦　者	愛　　媛　　県
ふりがな 名　　称	まつやまぼうさいりーだーいくせいせんたー 松山防災リーダー育成センター
所　在　地	愛媛県松山市
代　表　者 （団体での職名）	センター長　　木下（きのした）　直樹（なおき）
功績の概要	松山防災リーダー育成センターは、平成30年西日本豪雨を契機に設立され、災害での犠牲者を出さない人づくり・まちづくり目指し、小学生から高齢者まで切れ目のない防災教育を実践している。 これまでの活動は、「ジュニア防災リーダークラブ」の結成や「防災リーダークラブ」の活動をはじめ、「防災士フォローアッププログラム」、中学校での「マイ・タイムライン」の学習など、多岐に渡り、全ての世代や職域への防災思想の普及の大きく貢献していることから。

功　　績　　概　　要

団体［防災思想の普及］

推　薦　者	熊　　本　　県
ふりがな 名　　称	ゆうげんがいしゃみゅーずぷらんにんぐ 有限会社ミューズプランニング
所　在　地	熊本県上益城郡益城町
代　表　者 （団体での職名）	代表取締役　吉田（よしだ）　稀世（きよ）
功績の概要	有限会社ミューズプランニングは、創業者藤井宥貴子氏（元代表）が、自身の子育て経験をもとに育児サークルを立ち上げ、子育て情報誌の発行を通じて地域の母親たちとつながりながら、「女性が子育てをしながら自己実現を目指せる会社を創ろう！」との思いから２００３年に法人化した会社で、企画・編集事業を中心に、女性支援・子育て支援・ひとり親支援・男女共同参画推進など、地域に根ざした多様な事業を展開している。 同社が令和４年から令和６年にかけて休眠預金活用事業として実施した「くまもと女性防災リーダー育成事業Rin」は、平成28年熊本地震および令和2年7月豪雨を経験した熊本県において、災害対応に女性の視点が十分に反映されていないという課題を背景に実施された、県域全体を対象とする先駆的な女性防災リーダー育成事業である。 本事業は、平成28年熊本地震当時、熊本市男女共同参画センターはあもにい館長として避難所での性被害・性暴力防止等に取り組み、現在は熊本県防災会議委員でもある藤井元代表の実践経験と専門性を基に、男女共同参画の視点を取り入れた体系的なカリキュラムを構築している。また、藤井元代表は内閣府「男女共同参画の視点による平成28年熊本地震対応状況検討会」委員も務めており、平成28年熊本地震での実践経験に基づく意見が国の検討に反映されている。こうした知見も事業内容に活かされ、地域の実情に即した内容となっている。 防災基礎講座、平成28年熊本地震の教訓を学ぶ研修、東北被災地視察など、多面的なプログラムを通じて、地域で実践できる女性防災リーダーを継続的に育成してきた。修了者は、それぞれ地域での自主防災組織の立ち上げ、防災講座の開催、避難所運営支援など、具体的な防災活動を展開しており、修了者同士の学び合いと実践を支える自主的なネットワークとして「くまもと女性防災リーダーネットワークRin」が形成されている。同ネットワークは県内各地で防災啓発活動を広げており、事業の波及効果として特筆される。 また、地元益城町との連携や、学術的にも大阪公立大学が開発した防災教育プログラム「MUSUBOU」の活用などにより、事業は専門性と実践性を兼ね備えた内容へと発展している。これらの取組は他地域への展開も期待されるモデルとなる。 以上のように、同社の取組は、女性の視点を取り入れた防災人材育成を体系化し、地域に根付く実践へと結びつけた点で極めて意義深く、熊本県における防災思想の普及と地域防災力の向上に大きく寄与している。これらの功績は、防災功労者防災担当大臣表彰に値するものである。

功　　績　　概　　要

団体［災害時の防災活動］

推　薦　者	山　　梨　　県
ふりがな 名　　称	いっぱんしゃだんほうじん　ぜんこくさいがいふっきゅうしょくにんはけんきょうかい 一般社団法人全国災害復旧職人派遣協会
所　在　地	山梨県大月市
代　表　者 （団体での職名）	代表　　石岡（いしおか）　博実（ひろみ）
功績の概要	一般社団法人全国災害復旧職人派遣協会は、全国の専門技能を有する職人の登録・参画を得て組織し、災害発生時には被災地へ迅速に派遣して、被災住宅の屋根の応急復旧やブルーシート展張等の専門的作業を実施するなど、被災住宅の応急復旧に大きく貢献している。これにより、被災者が安心して生活を継続できる環境の確保に寄与している。 また、平時においては、防災講義や技術研修、自治体との協定締結等を通じて地域防災力の向上に貢献しており、その功績は顕著であるため推薦する。